



むつざわ

議会だより

第164号

2020年(令和2年)

5.15

(新) 睦沢郵便局 ▶

▼はこぼす



(旧) 睦沢郵便局



(新) 上市場郵便局



(旧) 瑞沢郵便局

【令和2年度各会計予算】

概 要	2~ 3
総括質疑・委員長報告・討論	4~ 6
こんなことが決まりました	7~10
条例の制定・補正予算など	
一般質問	11~ 19
議会活動日誌	20

発行／睦沢町議会 編集／睦沢町議会だより編集特別委員会
〒299-4492 千葉県長生郡睦沢町下之郷1650-1 ☎0475-44-2510
<http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp/kurashi/gikai>



会議録は、
町ホームページで
閲覧できます。

特別会計

国民健康保険特別会計 10億4,141万円

千葉県への事業費納付金、保険給付費など。特定健康診査受診率向上支援事業により新たに人口知能(AI)を活用した受診勧奨を実施。

農業集落排水事業特別会計 7,972万円

農業集落排水施設及び合併浄化槽の維持管理費や新規合併浄化槽設置工事費など。

介護保険特別会計 8億2,699万円

介護保険事業運営費、居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、自立支援と介護予防のための経費など。

かずさ有機センター特別会計 1,939万円

ふん尿処理、たい肥製造販売、施設維持管理費、人件費など。資源循環型農業による農業推進・環境維持を図る。

後期高齢者医療特別会計 1億1,139万円

後期高齢者広域連合納付金、保険料徴収経費、人間ドッグ・脳ドッグ補助金など。(14.8%増)

産業支援
農業活性化推進事業にて、サツマイモ栽培用農業機械などの導入補助、多面的機能支払交付金事業等の継続、有害鳥獣駆除事業の推進、むつざわ米等農産物のブランド化を推進。また、観光ニーズに対応しガイドマップの増刷や陸沢ジャーナルを作成。

子育て・教育支援
こども園では、保育環境の整備・多様化を図り保護者の子育てと仕事の両立を図る。小学校では、プログラミング教育の推進としてICT環境(MICRO:BIT)の整備。また中学校では、特別支援教育支援員および学習支援員を配置。一方、地域とともに歩む学校づくり推進事業として地域教育協議会を設置。

健康のまちづくり
総合運動公園多目的広場の拡張整備を行い、健康増進や憩いの場を創出、交流型健康支援プログラムを実施。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組む。また、中学3年生以下を対象にインフルエンザ予防接種の一部費用助成を実施。

その他
スマートウェルネスタウン拠点形成事業及びコミュニケーションプラント改良事業の継続。むつざわプロモーションプロジェクトの推進。福祉タクシーの助成事業、地籍調査の推進。学校施設整備基本構想の策定。第2期総合戦略の策定。



予算審査特別委員会

一般会計歳出の主な内容

3月定例会

令和2年度一般会計ほか5特別会計予算を可決 産業支援、子育て・教育支援、健康のまちづくり

令和2年第1回議会定例会は、3月2日から9日までの8日間を会期として開催されました。

令和2年度一般会計ほか5特別会計予算は、総括質疑の後、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。

提出された23議案と3発議案は、質疑の後、原案のとおり可決しました。

一般質問は、9名の議員が行い町政の課題を問いました。

予算編成方針

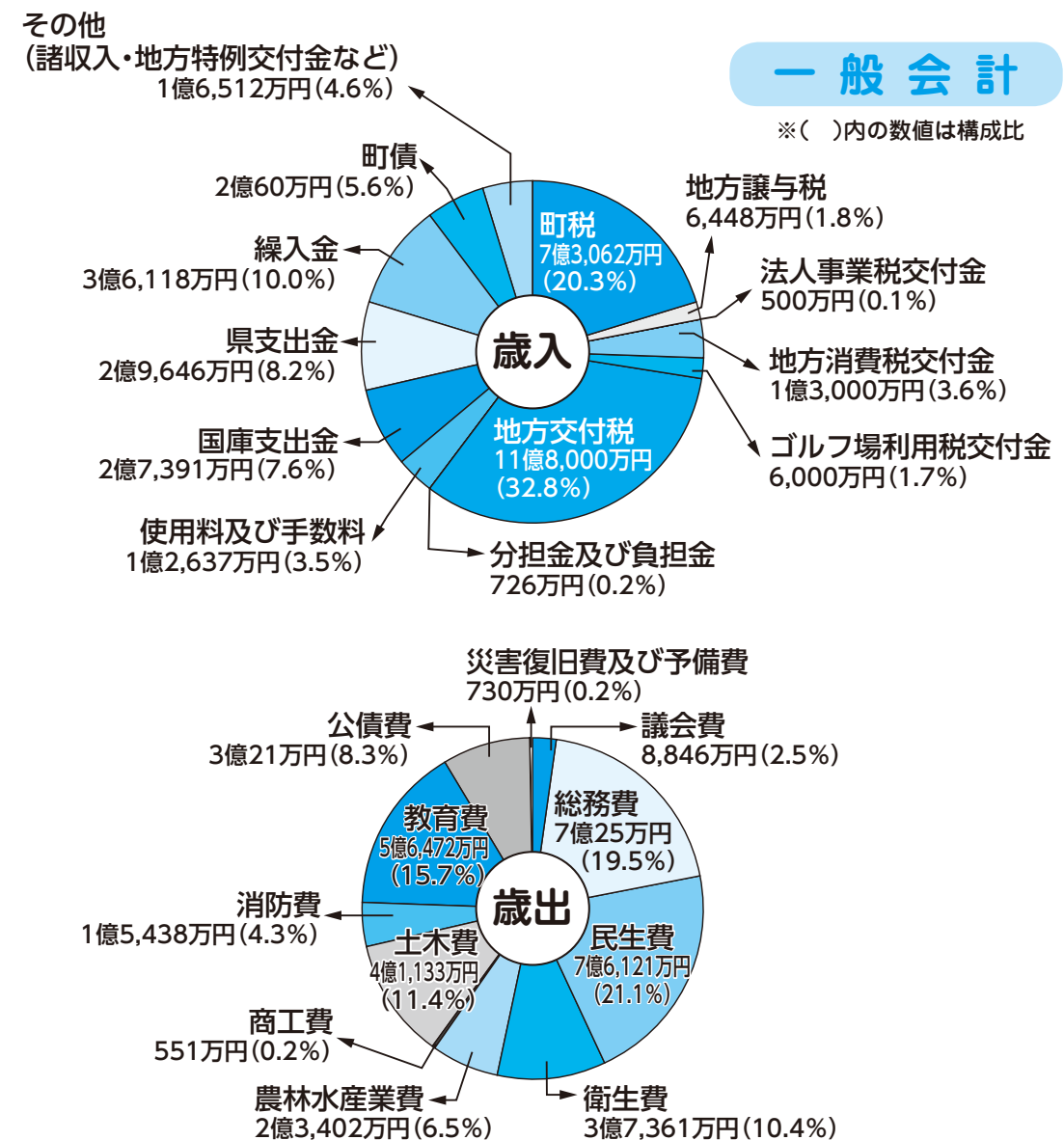
令和2年度は、第2期総合戦略の策定に向けて、4つの政策分野となる「健康まちづくり」、「まちぐるみ子育て」、「むつざわキャリアデザイン」、「むつざわ版地域循環共生圏」を軸に方向性を示していきます。

一方、社会保障関連経費や公共施設等の維持管理費などが増すなかで、「選択と集中」による歳出の見直しを行いつつ、住民のニーズに配慮した編成としました。

一般会計 36億100万円で スタート

一般会計

※()内の数値は構成比



一般 会計

総務

田中憲一議員 ふるさと納税の予算が減額になっている。意気込みが弱いのではないか。

町長 歳入は固く見積もりましたが、新しい取り組み等も努力してまいります。
伊原邦雄議員 町の人口が減少し出生数も増えていない。原因は何か。

町長 本町の人口は転出入の均衡化を図ることで^{出生率}出生数の予想より抑えています。出生数が増えないのは経済的な理由もあるようで、陸沢モデルを作るように知恵を絞り元気にしていきたいと思います。

久我眞澄議員 地方交付税を減らさないために人口を維持するののか。

町長 結果的にそうなりませんが、公共施設・資源を人口規模に見合った態勢にしていけることが大切かと考えます。

議員 ふるさと納税を増やすため具体的な検討をしているのか。

町長 体験型などを加えていますが件数と金額が少なく、さらにソフト事業を展開しマッチングさせていきたいと考えます。

田邊明佳議員 人口減少対策は予算に反映されているか。まちづくりの方向性は。

町長 健康づくりを足がかりに町を活性化させていきたいとの思いで、ソフト事業を拡充させていきます。

総務課長 賃貸住宅や子育て支援、町の様々な資源のPRなどを進め、人口減少の緩和に努めてまいります。今年10月実施の国勢調査での人口動態が5年間の交付税に反映されます。

議員 夜間、役場玄関や駐車場が暗く大変危険だ。

総務課長 役場庁舎は節電のため、17時半に一斉消灯し必要な箇所だけつけますが、今後は点灯するよう職員教育を徹底します。

財政

伊原邦雄議員 厳しい予算編成で住民サービスの低下が懸念されるが。

町長 非常に窮屈な予算編成ですが、いろいろな住民要望に對しまして、将来に希望を持てるような選択と集中で進めていきます。

久我眞澄議員 法人事業税交付金が増ったことで予算がどのように変わるか。

総務課長 この新税は消費税の引き上げ時に創設され、従来の交付税で措置できない事業等を補うことができず。

小川清隆議員 国・県の支出金の傾向はどうか。また補助金を使わない事業を行うことで、町債が増え財政を圧迫することはないか。

町長 最近の国は、町の意欲を重要視していて非常に協力的に指導してくれます。そのため町の事業に補助金を誘導できるようになってきました。やむなく起債する事業もありますが、のちに何割かが交付金として

返ってくる方法を見つけて実施しています。

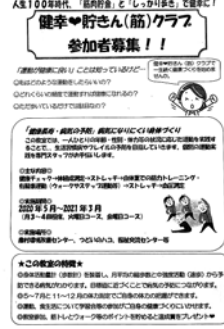
市原重光議員 歳入の町税が1・7%の増だが、約1割を占めるゴルフ場利用税が1千万円減額だ。これを補えるよう努力してはどうか。

町長 国は非課税枠を拡大しようとしています。貴重な財源を守るため、様々なところで存続を働き掛けていきたいと思っています。

地域振興

丸山克雄議員 今年度から始める健康ポイント事業のそれぞれの内容は。

まちづくり課長 外出を増やして元気になっていただくという先進予防型のまちづくりが目的です。各拠点の機械でポイントを付与します。利用していただくようにします。



健康保険課長 本課では筋力を強くする健康貯筋クラブというものを予定しています。インセンティブとしてポイントを考えています。
久我眞澄議員 道の駅を拠点にして実施する官民連携の推進とはなにか。また実験的に行う交通サービスのくらしの足はどの予算に含まれているのか。
まちづくり課長 民間の専門分野を生かして、道の駅を拠点に町の情報発信や健康事業を展開していきます。くらしの足の予算は、企画費の中のプロモーションプロジェクトのなかで行っていきませんが、継続の支援も考えています。
田邊明佳議員 オリンピックの観光需要への対応は。
産業振興課長 リーフレッツトへの多言語対応は難しいですが、写真などの視覚を強調して補いたいと思います。また一宮町とレンタサイクルの相互乗り入れを行い、ガイドマップを作成します。
議員 町長は農業者支援をどう考えているのか。

福祉

丸山克雄議員 各課で実施する健康づくりのメニューが増えており、利用者に大変分かりにくい。一覧表を図解でまとめてはどうか。
町長 町民に分かりやすいようにして、利用者を増やしていきます。
議員 高齢者のフレイル層への対応では数値目標を立てないのか。

教育

町長 数的目標は立てず、要介護にならないよう予防に力を入れていきます。
久我眞澄議員 福祉タクシーの利用基準を見直すのか。

福祉課長 これまで1回2千円の補助でしたが、予算が大変厳しく、1回1千500円に減額させていただきました。

田邊明佳議員 高齢者の体を強くする運動の事業は大変良いと思うが、足の課題を解決できないか。

町長 交通の課題は現時点で道半ばであり、新しい方策を模索中です。

田中憲一議員 学校施設整備基本構想について、議会はもとより地域住民や保護者、学校関係者の意見をどのように反映させていくのか、取り組みを伺う。
町長 一つひとつ段取りを踏みながら、議会の皆様、町民の皆様に資料を提示しご意見をいただきながら進めてまいります。

令和2年度予算審査特別委員会審査結果報告書

委員会構成

委員長	田邊明佳
副委員長	市原重光
副委員長	久我政史
副委員長	久我眞澄
委員	は正副委員長を除いた議員全員

審査結果

慎重審査の結果、令和2年度陸沢町一般会計予算外5特別会計予算については、指摘要望事項を付して、それぞれ原案のとおり可決することに決定した。

指摘要望事項

(1) 全体的な町の農業支援の形を見直し、認定農業者のさらなる支援とともに、むつざわ米のブランド化を強化されたい。また、ふるさと納税の制

予算面は大丈夫なのか。
教育長 学童保育は現在の支援員体制でできる予定です。子ども預かり教室も地域協議会のボランティアで対応でき、予算も確保してあります。

委員長 田邊明佳

度活用のさらなる検討をされたい。

(2) 地域防災計画の見直しに伴い自主防災組織の機能向上や倒木対策、停電の早期復旧など、災害対策についての体制整備につとめられたい。

(3) 会計年度任用職員制度に伴い、人件費の財政需要が大きくなる。公有財産の未利用地などの把握整理をするとともに、財源確保のための有効活用を検討し持続可能な健全財政に努められたい。

(4) 現行の学校施設の維持管理を怠らず、園小中一貫教育に向けた学校施設整備基本構想の策定に努められたい。

こんなことが決まりました

(議案第3号) 睦沢町産業振興基本条例 の制定

持続可能な産業の構築、町民の就労機会の拡大、少子高齢化・経済のグローバル化などへの的確な対応、町民の理解を得てより豊かで安全かつ安心して暮らせるまちづくりを推進するための指針とするものです。

(議案第2号) 睦沢町附属機関条例の制定

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、有識者により構成された委員会等については、附属機関として条例で位置づけ適正な設置や運営を図るものです。

一般会計

反対討論

久我眞澄議員

本年度予算は、前年度より0.4%縮小したものの計画期間、平成27年からの5年間で執行された睦沢町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略による多額な事業費用の影響を色濃く残す残務処理予算とも思える。もとより、この第一次総合戦略で『住もうむつざわ・行こうむつざわ』新しいまちのかたち」がここにある』をスローガンとして掲げ、人口減少の歯止めを主目的として数々の施策がなされているが、具体的には1つ目、若者の定住促進における住宅分譲、賃貸住宅事業を行っているが波及効果もなく、根本的な施策とはいえない。2つ目、安定した雇用においては、道の駅等で雇用は増したものの農業生産品で子ども、家族を養うところまではまだ遠い。3つ目、交流人口の拡大について、ス

論

スポーツや観光による交流人口が増えたとしても、実質効果に結びついているかは極めて不透明である。それより、ふるさと納税制度活用により、関係人口以上のつながりを持った輪を築くことができるのではないかと、以上のことから人口減少に歯止めをかける基本姿勢に疑問を持ち、次期総合戦略の課題とすることを期待し本案に反対とする。

賛成討論

丸山克雄議員

地方交付税については、本町の人口の減少傾向を見ると決して樂觀できる状況ではない。社会保障関連経費や公共施設等の維持管理費、制度改正による人件費などの財政需要が大きくなる中で、これまで以上の歳出削減に努めている。

教育施設では睦沢町園小中一環教育基本方針に基づいた学校施設整備に向けての基本構想の策定、福祉や健康施設では先進予防型まちづくり事業による各種健康支援による健康意識の動

討

機付け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業による高齢者の健康課題の把握や分析など、福祉の充実への努力がみられる。農業の施策では、道の駅への加工品の需要が増えてきているところから、第6次産業の推進も図るということについて期待をしている。また、町の特産品や地域の活性化、雇用の創出を目指すことについて評価する。

防災について、災害時、自ら行動できることを目標に自主防災組織の助成、住民の防災に対する意識を強め、自助、共助、公助の理念により一丸となって災害に強いまちづくりに尽力していかなければと考え、睦沢町のさらなる飛躍を期待し本案に賛成とする。

反対討論

田中憲一議員

第二次総合戦略の策定に向けて、4つの政策分野を軸に方向性を示していきたいとしている中で、住民不在の予算編成になっているのではないかと思えない。町補助金

調書には新規事業対象が10、既存が71になる。71の事業のうち23の補助金が減額である。住民や各団体が地域の活性化や発展活動についている補助金、町民に関わる生活基盤やインフラに及ぶ補助金でもある。あまりにも減額が多すぎる。学校施設の老朽化に伴い、学校施設整備基本構想の策定が進んでいるが、特に、許しがたいのは中学校費である。中学校管理費、事業費、修繕費については見直しをすべきである。新たな学校施設が完成するまでは、現施設を大切な成長期の学び舎として使用するものである。

賛成討論

麻生安夫議員

財政需要は年々増加傾向にある中、子育てに関わる

(議案第1号) 睦沢町防災基本条例の制定

(議案第4号) 睦沢町印鑑条例の一部を改正する条例の制定

議員 情報資産の管理はきちんとやっていかなければならないと思うが。
事務局長 条例を制定する場合には、十分気をつけて制定したいと思います。

(議案第6号) 睦沢町職員のサービスの宣言に関する条例の一部を改正する条例の制定

会計年度任用職員制度による地方公務員法の規定に基づく服務の宣誓についての改正により、本条例の一部を改正するものです。

(議案第5号) 睦沢町監査委員条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法の一部改正により普通地方公共団体の長等の損害賠償責任の一部免責の追加により、項のずれが生じたため、本条例についても一部改正を行うものです。

質疑

丸山克雄議員

監査委員の意見・合意はあったのか。また、監査委員の意見を出す場合の対象で情報資産は含まれるのか。
議会事務局長 事前に了解を得ております。情報資産については、細かく調査をいたします。

(議案第8号) 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

令和元年度人事院勧告、千葉県人事委員会の給与等に関する報告及び勧告により、給与条例の改正を行うものです。

(議案第9号) 睦沢町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

令和2年度より子ども・子育て支援事業の一層の充実を図るため、福祉課に新たに子育て推進班の設置をすることから、担当課を健康保険課から福祉課に改めるものです。

法律の一部改正に伴い、認定資格研修を修了していないものでも、資格研修を修了する予定であれば放課後児童支援員とみなすことができることされており、この経過措置の期間を令和3年3月31日まで延長するものです。

(議案第10号)

睦沢町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定

令和2年度より子ども・子育て支援事業の一層の充実を図るため、福祉課に新たに子育て推進班の設置をすることから、担当課を健康保険課から福祉課に改めるものです。



川島区内の桜

こんなことが決まりました

(議案第12号)
令和元年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
1千46万4千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ10億2千504万7千

支援事業委託料は、食数が1千食減ったため減額、家族介護用品の支給事業は15人が8人程度になったため減額となります。
議員 観光トイレスピドアップ事業補助金を取り下げとなった理由は、**産業振興課長** 佐貫地区を中心に立ち上げた睦沢里山ふれあい体験推進協議会が事業主となって行う予定でありました。しかし、会長が牛乳関係の事業もお持ちで君津市内の関係施設が、台風で被災したとのことで、本来のスピードアップ事業に資金を回せなくなり、取り下げとなりました。

円といたしました。
歳入では、国民健康保険システム改修に対する国庫補助金増額、県支出金は退職被保険者の減少に伴う減額です。歳出は、特定健康診断の実績により減額、一般会計繰越金を増額です。
(議案第13号)
令和元年度睦沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
1千401万7千円を減額し補正後の予算額を歳入歳出それぞれ6千172万円としました。
歳入では、合併浄化槽の新規設置数が当初見込みより減少したことから、分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金をそれぞれ減額しました。
歳出は、特定地域生活排水処理事業費は、新規合併浄化槽の設置基数が、実績見込みにより10基にとどまったことから減額しました。

(議案第14号)
令和元年度睦沢町介護保険特別会計補正予算(第2号)
1千145万円を減額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ8億262万5千円としました。
歳入では、国庫支出金は、高齢者の自立支援、重度化防止等に関する取り組みを支援するための保険者機能強化推進交付金を追加し、保険給付費、地域支援事業費の実績見込みにより減額、支払基金繰入金は、県支出金と合わせて減額しました。
質 疑
田中憲一議員 要介護、要支援の認定を決めていく中で、睦沢町の対象者の推移はどうなっているか。
福祉課長 要支援は7名増加、要介護は9名増加で重い方が増加している傾向です。
田邊明佳議員 地域支援事業費で、認知症初期集中支援チーム報酬額減額の理由は、
福祉課長 ひと月当たり幾

らという額ではなく、相談があった時の件数で支払いをしています。1回あたり1万円をお願いしているところですが、
(議案第15号)
令和元年度かずさ有機センター特別会計補正予算(第1号)
施設等整備基金に前年度繰越金額を積み立てるため既定予算の歳入歳出それぞれ242万3千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ2千305万1千円としました。歳入ですが、繰越金は、前年度繰越金を計上しました。歳出は、基金への積立金を計上しました。本積立後の基金残高は1千134万9千円となる見込みです。
質 疑
田邊明佳議員 民間という話もありますが、町としては、独自の路線という方向でもよいのではないか。
町長 2事業者が、もみ殻を活用して資金を生み出す方法を研究し、そのうち1事業者は、もみ殻を使って



広島市から贈られた被爆桜

こんなことが決まりました

(議案第11号)
令和元年度睦沢町一般会計補正予算(第9号)
2千558万8千円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ38億1千743万1千円としました。
歳入では、町民税の個人町民税は課税実績により、所得割が増となったことから増額、法人町民税は税率改正等により減額、分担金及び負担金は、国、県の情報及び実績見込みにより加減、普通交付税は決定額を計上、道の駅使用料はオーブン前の計上漏れがあったことから追加計上、地域優良賃貸住宅家賃は16戸分計上、現在は33戸中28戸の入居が決まっております。財産運用収入は、基金実績見込みにより計上、財産売却収入は減額、寄付金についてはふるさと納税を実績から減額、繰入金は加減、町債は、社会資本整備総合交付金(防災安全事業)に係る起債を追加しました。
歳出では全体としましては各事業とも年度末に向けての事業実績見込みあるい

は精算に伴う加減です。
質 疑
丸山克雄議員 町税が個人のほうは非常に増えているが法人が13%減はなぜか。
税務住民課長 予算につきましては3月の議会にかけておりますが実際に所得が確定するのが今の確定申告後に確定しますので、予想よりも個人の所得が上がったということで増額させてもらいました。
法人税の関係につきましては昨年10月に法人税の税率が9・7から6%に下がりました。法人の所得割の減少の法人が何法人かできましたのでそれを合わせて減額を補正させていただきました。
議員 プレミアム商品券の事業で思ったようにいかなかったように感じる。現場でこのプレミアム商品券の状況はどのようになっているか。
福祉課長 プレミアム商品券につきましては当初1千500人を見込んで予算計上したところですが、現状は2

月末現在で交付人数が548人、1月から3月までの方が12名見込みで560人と全体の見込み減額とさせていたいただきました。販売手数料、換金手数料、プレミアム商品券の業務等につきましてもその人数を基準として減額の補正とさせていただきました。
議員 危険ブロック除去事業補助金は、実際何件使っているか。どのような状況か。
まちづくり課長 危険ブロック塀の除去の事業ですけれどもこちらについては当初予算について3件分の予算計上していたわけですが、本年度中の申請が2件とどまったことそれと2件とも補助金の上限額に届かなかったことから今回の減額となりました。PRが少なかつたのではないかと思います。今後広報、ホームページで広報させていただきま

すが、
中村 勇議員 歳入で、ゴルフ場利用税が500万円減額になったが。
町長 大きな大会がありません。
したが、非課税者の利用の割合が増えているからです。
市原重光議員 農林水産業費の中で、農業振興費の補正予算を見てびっくりした。新年度予算同額の計上で議会が承認をしたにも拘わらず、3月の最後に同額が削られるのは、見込みをつけながら予算計上したのかと非常に残念な気持ちである。これまでの経過がどうだったか。
産業振興課長 農業経営多角化支援事業補助金の事業補助ですが、予定されていた事業者はマッチアップをした中で、計画自立を進めてまいりました。しかしながら事業者は最終的に投資に見合うだけの事業にならないと判断しました。今後はそのようなことがないよう事業の実現化を再度よく見極め、計上することとします。
議員 有害鳥獣費が多額の不用額になっている。これは当初、700万円台の予算額なのが500万円減額になっている。この中身はどうなっているか。

課長 箱わなについては、20基で見込んでいたところ10基の採択しかされませんでした。金網柵は、当初3千メートルを見込んでおりましたが、最終的には各地区からの要望の中で540メートルの施工、電気柵30メートルの施工となりました。
議員 有害鳥獣対策等は、たびたび議員各位が質疑等を行っている。積極的に金網柵設置を指導しては。
課長 地元とよく話しあって、この制度を充分活用していきたいと思います。
田中憲一議員 住宅リフォーム補助金だが、1件あたりマックス50万円の補助金を数年に分けて適用できないか。
まちづくり課長 国と相談しながら分割して上限50万円ということができるかどうか確認します。
田邊明佳議員 老人福祉費の委託料は、老人保護措置事業以外、軒並み減額であるが。
福祉課長 緊急通報業務委託は月80基が75基程度になったため減額、食の自立

シリカゲルを有効利用し、除草剤にできるか実験しているところです。できれば今年の秋ごろまでに方向性を出したいということです。
(議案第16号)
令和元年の睦沢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
460万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ1億167万6千円としました。
歳入ですが、後期高齢者医療保険料は増額、保険基金安定繰入金は減額とし、広域連合からのシステム改修費を計上しました。
歳出では、人件費増額、後期高齢者医療広域連合の納付金増額、諸支出金は一般会計繰越金を計上しました。

一般質問

麻生 安夫 議員



老朽化した金久保排水機場の改修は

町長 早急に国土強靱化地域計画を進めます

学校施設整備はどのように推進するのか
町民に負担をかけないよう慎重に
議員 今後の町の財政状況を鑑みた中で、どのようにして学校施設の整備を推進していく考えか。

川島区の久保地域にある金久保排水機場は、老朽化でポンプの稼働状況が悪く、大洪水に対応できないが、今後いつどのように改修していくのか。
町長 国の補助事業を活用するには地区としての新規計画策定が必須ですので、早急に策定して県の認可を受け、ディーゼルエンジン式のポンプを電動式に切り替え、長時間停電にも対応できる大型発電機を備える方向で考えています。
今後陸沢町が中心となり、長生郡が一体となって国土強靱化地域計画を進めていき、金久保排水機場の改修も当然この中に入れながら進めてまいります。



金久保第二排水機場

町長 平成29年度から学校施設整備基本構想の策定に向け検討をおこなっておりますが、運用上とコスト面からみても小中施設一体型での整備が妥当かと思いますが、それを踏まえながら耐用年数を考え、整備費、総事業費を設定し、基金の設定、補助事業の検討、事業手法の検討を経て財政面も考慮しながら、町民に負担をかけないよう、慎重に事業スケジュールを検討してまいります。

第1期総合戦略の成果は
長期的視点では少くも効果は出ています
議員 町長として第1期総合戦略の成果をはじめ、今後取るべき方向性または将来の展望をどのように考えているのか。
町長 第1期総合戦略は目指す将来像を『住もうむつざわ・行こうむつざわ』『新しいまちのかたち』がここにある』と定め、特にむつざわスマートウェルネスタウン事業を重点に推進して参りました。若者定住施策としては、リバーサイドタウンやパークサイドタウン、スマートウェルネスタウン住宅の整備は、人口減少、少子高齢化対策に寄与しています。
健康まちづくりの点では、先進予防型まちづくりを推進し、人の健康と地域の健康の両輪で住民が健康になればなるほど町も元気になるまちづくりを目指します。
子育て支援では、各種助成金など拡充や子育てがい

こんなことが決まりました

(議案第23号) 陸沢町教育委員会委員の任命の同意
任期満了に伴い、次の方を任命することに同意しました。
住所 陸沢町上之郷 2336番地
氏名 飯塚 史美代 氏
昭和42年8月14日生
(諮問第1号) 人権擁護委員の推薦の同意
任期満了に伴い、次の方を候補者として推薦することに同意しました。
住所 陸沢町河須ヶ谷 95番地
氏名 伊原 護一 氏
昭和27年12月9日生
(発議案第1号) 陸沢町議会議員の期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例の制定
人事院並びに千葉県人事委員会の勧告に準じ、町一般職及び特別職の期末手当等が引き上げられることを受け、同様に陸沢町議会議員の期末手当を年間0・05月分引き上げるものです。
(反対討論) 田邊明佳議員
報酬削減の公約を掲げ、議論を目指しているので条例の一部を改正することに反対とする。
(発議案第2号) 陸沢町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
令和2年4月1日から建設課が、設置されることから総務経済常任委員会の所管に建設課に属する事項を追加するものです。
(発議案第3号) 千葉県外房有料道路の茂原区間の料金無料化及び茂原一宮道路の早期開通に関する意見書の提出
観光振興や企業立地など、さらなる利用促進のため、茂原区間料金の早期無料化の要望と外房地域の活性化や観光振興に重要である道路の早期開通を強く要望するものです。

令和2年第1回定例会 議員別表決結果一覧

議 員 名 等			審議結果	島貴孝	小川清隆	酒井康雄	丸山克雄	久我眞澄	伊原邦雄	久我政史	田邊明佳	田中憲一	中村義徳	中村 勇	市原重光	麻生安夫	今関澄男	
議 案 名 等																		
議 案	第1号	陸沢町防災基本条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第2号	陸沢町附属機関条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第3号	陸沢町産業振興基本条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第4号	陸沢町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第5号	陸沢町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第6号	陸沢町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第7号	陸沢町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛成多数	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
	第8号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第9号	陸沢町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第10号	陸沢町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第11号	令和元年度陸沢町一般会計補正予算（第9号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第12号	令和元年度陸沢町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第13号	令和元年度陸沢町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第14号	令和元年度陸沢町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第15号	令和元年度かずさ有機センター特別会計補正予算（第1号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第16号	令和元年度陸沢町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第17号	令和2年度陸沢町一般会計予算	可決 賛成多数	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	—
	第18号	令和2年度陸沢町国民健康保険特別会計予算	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
	第19号	令和2年度陸沢町農業集落排水事業特別会計予算	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
	第20号	令和2年度陸沢町介護保険特別会計予算	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
	第21号	令和2年度かずさ有機センター特別会計予算	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
	第22号	令和2年度陸沢町後期高齢者医療特別会計予算	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—
	第23号	陸沢町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	諮問と 承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発 議	第1号	陸沢町議会議員の期末手当支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛成多数	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
	第2号	陸沢町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	第3号	千葉外房有料道路の茂原区間の料金無料化及び茂原一宮道路の早期開通に関する意見書の提出について	可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※表の見方 ○：賛成、×：反対、欠：欠席、退：退席、除：除斥、議長は表決に加わらないため「-」で表示

一般質問

酒井 康雄 議員

町政の課題を問う

樹木が転ばぬ先の対策

町長 国土強靱化計画策定を急ぎます

想定外の倒木による大規模停電、断水や交通障害など大きな災害をもたらした教訓をもとに、町は今後どのような対応を考えているか。

町長 停電被害に対応するため連絡調整、支援、広報等に努めてまいりました。今後、長期間の停電を引き起こした倒木への対応につきましては、地域防災計画の見直しや国土強靱化計画について協議を進め、町としてできる対策を講じてまいります。

議員 自らの資産の管理として倒木対策を速やかに行うよう啓発が必要ではないか。町では、ハザードマップに、倒木、倒竹や落枝の危険性の調査を行い、マップに落とし、対策を検討すべきではないか。

町長 倒木の危険性の調査についてマップ等に落としておりません。現在公共施設等の管理で危険性があるものについては、所有者のご理解をいただいてから伐採等を行っております。まずは自分で行うこと、地

域、隣近所で行うこと、そして行政が果たす役割をしっかりと定め、それぞれが一体となって命を守る行動が起これるよう連携、協力を行ってまいります。

地域共生社会の実現を

地域包括ケアシステムを推進してまいります

議員 町民一人ひとりが支援する体制づくりの課題はどのようにとらえているか。また、そのことを踏まえて、他機関との協働による地域包括的支援体制構築と地域力強化推進への取り組みにおける認識と対応は。そして、地域資源である福祉ボランティアの活動のコーディネートは、どのように行っているか。

町長 地域のつながりが希薄となり支えあいの機能が弱まっていることを考え、高齢者保健福祉計画のとおり、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように、医療介

護予防生活支援を提供できる地域包括ケアシステムを推進しております。日常のちょっとした困りごとを解決するためのチョコボラや住民主体の交通サービス「くらしの足むつざわ」の試験運行を行っております。今後もボランティア育成に力を入れてまいりたいと思います。

園小中一貫教育の取り組みの結果は

具体的な測定可能な目標値を数値化しています

議員 園小中一貫教育において、指導者ほどの程度自分のものとしてとらえているか。

教育課長 基本理念を「郷土を誇りに思う心と人間力・社会力の育成及び生涯にわたる幅広い学びの推進」としました。この教育目標を実現するための指標が設定しており、評価をします。その結果においては数値化し外部の評価をいただいております。



小学校バス見送り

一般質問

伊原 邦雄 議員

町政の課題を問う

停電予防に倒木対策を

町長 倒木予防などの対応を検討します

昨年の台風、豪雨では様々な災害に見舞われた。中でも停電は長期にわたり私たちの生活に大きな影響を与えた。

停電の原因として大きなものは倒木によるものとされている。この点についてどのように考えているか。また、倒木は道路をも塞ぎ、家屋等構造物にも大きな被害をもたらす。これら障害となる樹木を伐採する考えはあるか。

町長 電線や道路に隣接する樹木の伐採については、防災の意味からも不可欠なことと認識しています。電線につきましては電気事業者による管理の徹底を求めると共に、町管理施設と道路に架かる倒木の危険性のある樹木については必要に応じ伐採を行っております。私有地の場合も所有者に伐採等の協力を求めています。今後の地域防災計画の見直しなどの協議で倒木予防について対応を検討してまいります。

議員 この件については県議会でも議論がなされ、千

葉市の防災計画のなかにも盛り込まれている。

この該当の樹木はほとんどが個人所有と思われる。そこで行政がこれに関わり援助できないか。防災上有効な公的な援助補助はないか検討願いたい。

停電のない倒木被害のない、他に誇れる町にしたいかがか。

町長 個人所有のものについて、道路にはみ出したものについては、法的に手段を取ることができませんが、それ以外については、現在の法体系の中では行政が強制的に対応するといった法的な根拠がないのが実態です。

先ほど申し上げたように、倒木予防につきましては、今後の地域防災計画の見直しの中で検討いたします。千葉県では主要県道の周りですが、予算をつけたとも伺っています。

この件については、国・県等にも強く要請し、法的な措置、財政的な支援等、求めながら対応に努めてまいります。



倒木

議員 一昔前は、木は大きな財産であった。しかし現在ではそれほど価値がないのではないかと考える。むしろ伐採したくてもできないという人が多いと思われる。国内でも地方によっては、この対策が既になされているところもあるようだ。

過去にかつてない災害に見舞われた。その対策もかつてない対策をするべきではないか。

町長 これにつきましては、

国・県に支援を求め、その法律が変わる、あるいは法律を変えるというところから市町村にもそういう権限が与えられ、それを実行する財政的支援があるという方向に持っていきたいと思っています。国・県への強い要望を求めています。千葉県ではそういう方向性を示しているので、町村に対しても支援していただけたらいいと思います。

一般質問

島貫 孝 議員

町政の課題を問う

通園バスの安全対策を

教育課長 安全対策に取り組みます

こども園の通園バスにはシートベルトが設置されていない。数年前には追突事故も起きている、シートベルトは必要だと思うが。

教育課長 幼児専用バスは法律上シートベルトの設置が除外されています。最前列最後尾は使用しない、しっかり座席に着席する、事故を想定した話し合いをする等、安全対策に取り組めます。

教職員の人間関係は良好です

議員 職員同士の人間関係は良好か、セクハラ、パワハラはないか。

教育課長 本町で教職員同士のセクハラ、パワハラの報告はありません。

議員 保護者の立場で耳にすることがあるが、子ども達の教育、保育の質の向上には現場の先生方の労働環境の改善が必須ではないか。

教育課長 ハラスメントに対する正しい知識と意識を持って活動に当たるよう指導してまいります。

災害時の避難所、感染症対策は個別に対応します

議員 新型コロナウイルスの問題が起きているが、インフルエンザ、胃腸炎等の感染症が流行している時期に避難所が開設される事態が起きた場合、町として何か対策はあるか。

例えば乳幼児のいる家庭、ペットのいる家庭、感染症の疑いがある方はここ、などとかじめ避難場所を決めることは可能か。新型コロナウイルスに感染の疑いがある方はどこに避難すればよいか。

町長 避難所では受付時に家族構成や疾病の状況等を確認し、保健師などの職員と協議し個々の状況に応じて対処します。

避難場所を事前に決める事については、避難所運営マニュアルに沿って訓練し、自主防災組織と連携、分かりやすく効率的な開設に努めます。

新型コロナウイルスの感染が疑われる様な場合は別



通園バス車内

一般質問

小川 清隆 議員

町政の課題を問う

給食費の無償化を

教育課長 段階的なことも考えていきたいと思います

給食費無償化における財政の負担額と完全無償化した場合の財政負担はどうか。

教育課長 主食分に係る財政負担額は、約50万円程度となり完全無償化の場合は約3千490万円となります。

議員 県内の約半数の町が無償化を行っている。はじめは中学3年生を無償化にして、翌年は中学3・2年生を無償化にするなど計画的に無償化を進めるべきではないか。

教育課長 食育という観点と無償化が保護者の給食に対する関心、子育てに対する意識が低下してしまう懸念が消えないことなどにより無償化は、現在考えておりません。

議員 給食費の未納家庭があるのか。そして、給食費無償化の早期実現を提案する。

教育課長 給食費の滞納は、今年度ないと認識しています。また、これからは段階的なことも考えながら進めたいと思います。

議員と職員の定数は

議員定数は、議会自らが判断すべき

議員 議員が自ら委員会等を設置し定数について協議等を行ってきたが、現状維持となっている。この14名について、どのように考えているのか。

町長 議会自らが判断するべきであり定数の是非については、私が述べることは差し控えたいと思います。

議員 町が行っているアンケート調査に議員定数等についての設問事項を入れて

災害対策は

即時対応と連携を強化します

議員 各戸に配布した陸沢町洪水・土砂災害ハザードマップの中に、広域・自主防災組織避難場所に既往危険箇所や各警戒区域に指定している場所があるが、今後の対応と対策をどのように考えているのか。

町長 新たな国土強靱化計画を策定し、これに基づき防災計画の改定も行っている。

議員 各戸に配布した陸沢町洪水・土砂災害ハザードマップの中に、広域・自主防災組織避難場所に既往危険箇所や各警戒区域に指定している場所があるが、今後の対応と対策をどのように考えているのか。

議員 町防災担当課と消防団第5支団と佐貫分署との災害時における連携はどのようになっているのか。

町長 今後も情報共有を図り、即時対応と連携の強化に努めてまいります。

議員 町防災担当課と消防団第5支団と佐貫分署との災害時における連携はどのようになっているのか。

議員 町防災担当課と消防団第5支団と佐貫分署との災害時における連携はどのようになっているのか。



舗装されていない人家道

町道整備を

バランスを見て着手します

議員 一部の住宅で町道と接しているにもかかわらず未舗装があるが、把握しているのか。

町長 人家道の未舗装路線は把握しております。

議員 優先的に整備を行うべきではないか。

町長 町内のバランスを見て着手します。

土日のバスの運行を

茂原線を運行します

議員 以前から土日のバスの運行について特に高校生からの要望があるが対策は。

町長 道の駅から茂原駅までの往復5便を4月から運行予定です。今のところ大多喜一宮線の運行予定はありません。

一般質問

丸山 克雄 議員

町政の課題を問う

女性の活躍・参画を称えよ

町長 称賛し広報に努めます

本町は健幸のまちづくりを標榜しているが、実質的には女性の活躍によって推進されており、子育てや関係人口の拡大などの分野でも貢献が大変大きい。

女性を称え、広報を増やすなどリスペクトし、女性の参画を促し健康づくりを進める好循環を作っている。

町長 現在、男女共同参画計画の策定や女性活躍社会の推進に努めております。女性活躍の例として、未来ラボの女性達による町の情報の発信や交流イベント、起業など。また更生保護女性会、保健栄養推進員、介護予防や健康教室、ウオーキングなど女性の活躍は目覚ましいものがあります。町としても諸活動を称え、広報を増やし、参画者の拡大で健康寿命の延伸など、健幸のまちづくりを推進してまいります。



未来ラボ作成の町情報誌

緊急通報装置の設置を

携帯電話の活用も検討します

議員 固定電話がない高齢者で独り住まいの家庭にも緊急通報装置を設置し、安心・安全な暮らしができるよう配慮してはどうか。

町長 緊急通報装置設置事業は、24時間対応で独り暮らしの高齢者世帯の安否確認をしております。

最近携帯電話を使用したサービスが始まっているようですので本サービスの導入も検討していきます。

中学校で消費者教育を充実させます

18歳成人への対応は

関係機関と協議します

防災に特化した民生委員協力体制を

議員 2月の地区別避難訓練でも、災害時避難行動要支援者の安否確認に不安が残った。

民生委員をサポートできる防災に特化した協力体制を強化してはどうか。

町長 共助の理念のもと、

自主防災組織や災害コーディネーターとの役割分担ができないか、民生委員に過度の負担が生じないよう補助体制について、関係機関と協議していきたいと考えております。

議員 民法の改正により、2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられる。成人になると様々な責任が伴い、消費トラブルが心配される。中学校で実践的な消費者教育を行ってはどうか。

教育課長 18歳成人では契約・お金・婚姻・取消権・消費など、消費者被害防止等の観点から消費者教育の周知徹底は必要かと考えます。

中学校第3学年時に、社会科公民で消費者行政と経

済活動について、技術家庭科で金銭管理を学び、消費者教育を充実させていきたいと考えております。

議員 成人式のあり方をどのように考えているか。また18歳に対する祝賀についてはどうか。

教育課長 成人式については自治体で判断するようになっていますが、本年夏ごろまでには方向性を決定したいと思います。

18歳への祝賀についても同様でございます。

一般質問

久我 眞澄 議員

町政の課題を問う

ふるさと納税 賛同を得る検討は

町長 電子感謝券の活用を調査します

ふるさと納税による寄附金の使途について、具体的な事業・目的を明確に示し賛同を得る検討は。

町長 寄附金の使途については、申込書のなかで明記していただくようにしております。昨年の台風被害に際しては、返礼品なしで、寄附が70件、額にして184万円の支援をいただいたこともあり、次年度の募集に際しては、使途の明記についても見直しを行います。

議員 令和2年度の税制改正で企業版ふるさと納税が大幅に見直されているが、

町長 企業も非常に使いかたがよくなり、受けるほうも注目しています。現在、対応を進めています。

議員 返礼品に対する検討はどのようなものか。

町長 道の駅オーブン以降新しい返礼品も開発されましたが、継続的に提供できる品目が少ないことから引き続き商品開発等の支援を進めたいと考えています。



議員 電子感謝券の適用は送料など省くことができる米販売などに有用ではないか。

町長 電子感謝券は大変評判がよく、これをぜひ活用する方向で調査研究を進めます。

議員 寄附の呼びかけはどのようにしているのか。

町長 ふるさと納税の周知は、町ホームページによるものです。今後、特色のある町の取り組みや政策を町外にPRする発信力を高めていきます。

議員 寄附をいただいた方へのお礼の言葉や結果の報告は。

町長 お礼状に冊子などを添えて送付していますが、寄附の概要や使途については次年度にホームページ等で周知します。

災害時の課題は

避難情報の伝達強化に努めます

議員 昨年の台風災害対応で今後にかす反省点は。

町長 倒木による停電、道路等の復旧課題。想定外の暴風雨への対応。避難情報の伝達や避難所運営などがあります。今回、本会議に上程する防災基本条例の目的でもあります、町や町民事業者や議会がそれぞれの立場で自助・共助・公助の理念のもと課題に取り組んでまいります。



倒木処理

ふるさとチョイス
電子感謝券企業版
ふるさと納税

議員 ボランティア団体等における近隣市町村との連携・情報伝達・復旧作業はどのようなものだったのか。

町長 市町村により災害支援の要請の有無また支援を望む専門技術職等多々状況が異なりましたが、こうしたなか参加は個人の判断ではありましたが、団体としてもう少し協力ができたのではという意見もあり、参加方法や各ボランティアセンターの情報等の周知を関係団体との連携の中で今後は推進していきたいと考えています。

一般質問

田邊 明佳 議員

町政の課題を問う

指摘要望事項の反映は

町長 努力しています

議員は、昨年度の予算審査特別委員会において、平成31年度陸沢町一般会計ほか5特別会計予算を、指摘要望事項を付して、それぞれ原案のとおり可決した。については、昨年度の指摘要望事項の5点が、本年度予算にどのように反映されたのかを伺う。

町長 1点目、学校施設整備基本構想については、議会からのご意見を聞きながら策定の協議が進められています。

2点目、第2次総合戦略についても国の制度にもとづき、財政状況の推移を図りながら提案させていただきま。

3点目、認定農業者及び中核農家への強力な支援については国・県等の補助事業をはじめ予算確保など迅速に行っております。

4点目、かずさ有機センターの将来については、民間の活用を視野に入れています。

5点目、ふるさと納税のむつざわ米ですが、この米の特色を前面にだすプロ



かずさ有機センター

モーションをしまいにいます。

議員 指摘要望事項が反映されているか否かを問う根拠として、施策の十分な説明や協議が足りないことがある。先の答弁の学校施設整備基本構想、第2次総合戦略にしても説明・協議をそれほど密にやったと思えないが。

町長 学校施設整備基本構想、第2次総合戦略の中期については、計画の早い段階から皆様にお諮りしながら進めたいと思いが逆になら十分な資料・説明と映

たのかもしれませんが、大変申し訳ございません。

議員 指摘要望事項の内容は、これまで何度も繰り返し言っていることでもあり、冒頭に述べた2元代表制の基本的観点からすれば、この指摘要望事項があつての原案どおりの可決だということ、この重さを受け止めてこそ、お互いに陸沢町皆様のため一生懸命努力できるものと考えます。

道の駅の現状と効果は

堅調な推移となっています

議員 道の駅は農業をはじめとする地域産業の継続的な発展と振興を図るとしており大いに期待されている。については、道の駅の現状と地域活性化への効果を伺う。

町長 現状では、目標以上の来客数、売上を達成できる見込みです。これまでの5か月間で、来客者数は18万人、売上高は1億円と年間目標の50%以上となっています。堅調な推移となつ



道の駅つどいの市場

ていますが、まだ半年の結果でもあり、コロナウイルスの影響もでると思われるので注視していきます。

地域活性化の効果ですが、健康支援型の道の駅として整備された本施設の効果発現は、今後のソフト事業が重要であり地道な努力と時間が必要と認識しています。

議員 道の駅の個人情報保護に対する取り組みは。

町長 当初より個人情報保護方針を定め、管理職着任研修が適宜実施され、アルバイトには採用時に注意喚起が実施されています。

一般質問

田中 憲一 議員

町政の課題を問う

むつざわ教育について

町長 ハード・ソフト面のスケジュールを示していきます

議員全員協議会で話題にあがった、小学校・中学校校舎の安全性について、耐震強度・耐久強度や構造強度など今一度しっかり検査をし、建て替えまでのスケジュールを確立する必要があると考えるが。

町長 スケジュールの前段で、学校の規模・配置・建設場所の方向性を定めています。

議員 今回スケジュールについて問うのは、中学校の施設環境が改善されておらず、年間予算修繕費があまりにも低額で、在校生のストレスになってしまわぬか懸念されるが。

町長 通常の査定の中で、通常の段階でやっている範囲内でありま。

議員 現在1園1小1中である、陸沢町にとつては、示された陸沢町園小中一貫教育基本方針は陸沢教育にとり15年間の教育課程を編成しやすい最高の環境下にあり、学校の施設整備検討が進む中ではあるが、この近年はソフトの部分の強化に取



陸沢中学校

り組むべきと考えるが。

教育課長 園・小・中の全教職員が対象となる町教育振興会全体会を開催し、国語部会ほか7部会から、カリキュラムの発表があり15歳の目指す姿を共有できるように一貫した指導に取り組むことを目標に作成いたしました。一貫教育校として課題を見つけ、教員相互に理解し連携しながら成果を出していきたいと考えています。

地元産業について

産業振興条例を制定します

議員 陸沢町で展開されている農業・商業・工業等の雇用や事業促進に繋がるべく政策強化をする必要があると考えるが、新年度予算にはどう反映されているか。

町長 産業振興条例を制定し町内産業の発展を図るため、農商工に関わる方々が一堂に会して議論するテールとしての産業振興推進会議を設置し、町全体の産業かさ上げを図ってまいります。

議員 地元の小規模事業者や土木建設業者に当たっては、地元の仕事を地元の業者に発注できるように取り組みをするべきと考えるが。

町長 要綱や規定の見直し等も図りながら、再考していきたいと思います。

議員 地元業者へ発注することにより、業者育成・向上や税収アップに繋がると思うが。

町長 地元発注がスムーズにできるように再考します。

町長の政治姿勢について

真摯に努めて参ります

議員 様々な政策を行う中で町民の代表である議会には細かく説明をし、町民の理解を得るとしていたが、『運動公園のサッカー聖地発言』以降、交流人口や指定管理委託業者にばかり向いていて、町民不在の運営で町民の満足度は低下しているように感じるが。

町長 町の進める様々な計画を策定し、議会をはじめ町民の皆様にも、地区懇談会など説明の機会を設けて多くの意見をいただき是正すべきところは改善し取り組みを進めてきました。

議員 運動公園の指定管理費の削減や町民が今まで通りストレスなく利用できる提案していたことについては。

町長 指定管理を行っている業者に、中身を色々精査させてもらっています。

議会活動日誌

月日	行事内容	月日	行事内容
2月	3日 議会だより編集特別委員会 (19日) 歓喜寺節分会	3月	2日 第1回議会定例会 (～9日)
	4日 長生郡市議員会第2回地区交流会		4日 予算審査特別委員会 (～6日)
	7日 長生広域第1回議会定例会 (13日、25日)		24日 廃棄物減量等推進審議会
	10日 高齢者保健福祉計画推進委員会		26日 環境審議会 長生郡市議員会役員会
	11日 建国祭		27日 議会だより編集特別委員会 例月出納検査
	13日 長生郡議長会臨時会	4月	9日 議会だより編集会議(10日、13日、23日、30日)
	14日 議会運営委員会・全体会議・全員協議会		22日 例月出納検査
	17日 後期高齢者広域連合第1回定例会		
	18日 千葉県町村議会議長会第3回定例会		
	20日 第1回九十九里地域水道企業団理事会		
	21日 国民健康保険運営協議会 ロードレース大会役員会		
	25日 例月出納検査 かずさ有機センター運営協議会		
	28日 一宮聖苑組合議会		



議長と議会だより編集委員

委員長 久我 眞澄
副委員長 丸山 克雄
委員 伊原 邦雄
酒井 康雄
小川 清隆

編集委員の紹介

ことばの案内所

※1 ICT

情報(インフォメーション)・通信(コミュニケーション)・技術(テクノロジー)の略称。

※2 社人研

国立社会保障・人口問題研究所の略称。人口、経済、社会保障の相互関連についての調査研究を通じて、国民の福祉の向上に寄与することを目的としている。

※3 フレイル

健康な状態から要支援・要介護になるまでの不健康な身体・精神的状態のこと。

※4 GIGAスクール

文部科学省の構想。GIGAとはグローバル＆イノベーション・ゲートウェイ(フォア)オールの略で、小・中学校にPCと校内LANを用意し情報教育を進めていく取り組み。

※5 電子感謝券

ふるさと納税の返礼品を従来の品物に代えて、自治体内の加盟店・施設で飲食や施設利用ができる電子ポイントのこと。

自治功労者表彰

このたび、市原重光議員が全国町村議会議長会副会長及び千葉県町村議会議長会会長としての功労により全国町村議会議長会より感謝状をいただきました。また町村議会議長として多年の功績により表彰されました。



議会を傍聴しませんか

第2回(6月)定例会は
6月15日(月)から
開催の予定です。

詳しくは、議会事務局 ☎44-2510へ
お問い合わせください。

編集後記

「不動如山」この言葉は、戦国大名武田信玄の旗指物(軍旗)に記された言葉です。自分の陣営を守るときには山のようにどっしりと構えるという意味であります。

新型コロナウイルスが世界に猛威を放っています。信玄の軍旗のように不要不急の外出はしないことがワクチンのない今、最善策かもしれません。国民は、緊急経済対策となる補正予算案を早期に閣議決定し現金給付を静かに待ち望んでいます。新型コロナウイルスとの戦いはこれからも続きます。

睦沢町議会も市民の健康で安全な生活がいち早く取り戻せるよう努力してまいります。

酒井康雄